

# 事業計画及び成長可能性に関する事項

## 株式会社ステムセル研究所

2025年 6月24日

# 会社概要

# stemcell INSTITUTE

あたらしい命に、  
あたらしい医療の選択肢を。

うまれてくる命のために、そのご家族のために、

わたしたちができること。

それは、さい帯血をはじめ、

一生に一度きりの

命の財産をおあずかりすることです。

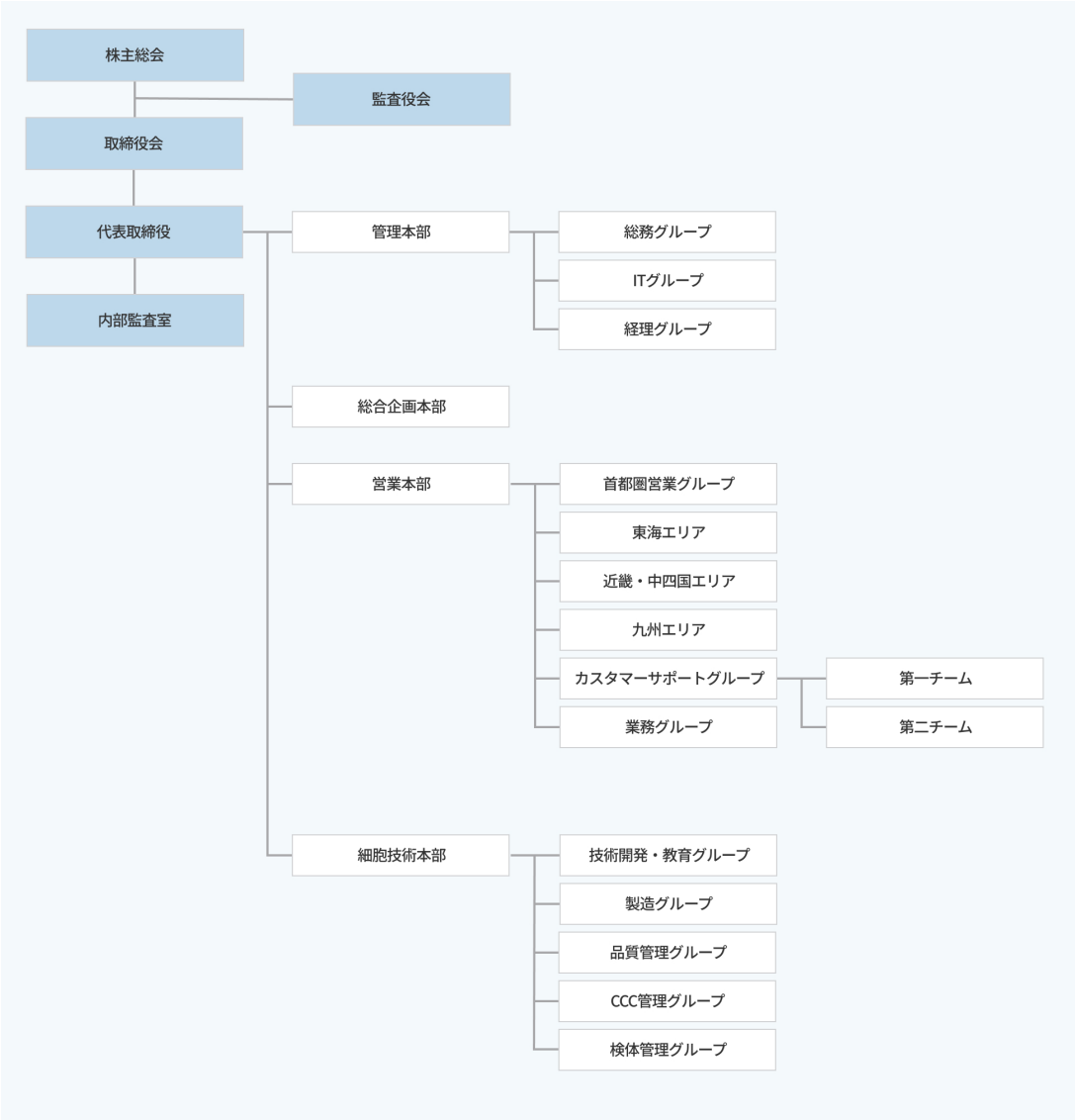
このうまれたての可能性が、

あたらしい医療の選択肢になる世の中へ。

これが、わたしたちステムセル研究所の願いです。



|         |                                                                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称      | 株式会社ステムセル研究所（英語名:StemCell Institute）                                                                                                                                  |
| 代表者     | 清水 崇文                                                                                                                                                                 |
| 設立日     | 1999年 8 月 5 日                                                                                                                                                         |
| 資本金     | 7 億480万円                                                                                                                                                              |
| 事業内容    | 周産期の組織に由来する細胞の処理及び保管を行う「細胞バンク事業」及びそれらの細胞を用いた再生医療の研究開発                                                                                                                 |
| 所在地     | 本社：東京都港区虎ノ門一丁目21-19 東急虎ノ門ビル 2 階<br>東京CPC：東京都港区新橋五丁目22-10 松岡田村町ビル 1 階<br>横浜CPC及び細胞保管センター（第 1 ～第 3）：神奈川県横浜市緑区白山一丁目18-2 ジャーマンインダストリーパーク<br>事業所：名古屋オフィス / 大阪オフィス / 福岡オフィス |
| 社員数     | 社員：115名(男性:38名 女性:77名)<br>非常勤(契約社員・パート)：115名(男性11名 女性104名) ※2025年 3 月末時点                                                                                              |
| 主要株主    | 株式会社日本トリム(70.53%)                                                                                                                                                     |
| 株主名簿管理人 | 三井住友信託銀行株式会社                                                                                                                                                          |
| 主要取引銀行  | 株式会社三菱UFJ銀行                                                                                                                                                           |
| 主幹事証券会社 | 野村証券株式会社                                                                                                                                                              |
| 監査法人    | 有限責任あずさ監査法人                                                                                                                                                           |



|           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 代表取締役社長   | 清水 崇文                       |
| 取締役(社外)   | 山田 智男                       |
| 取締役(社外)   | 安藤 公秀(独立役員)                 |
| 取締役(社外)   | 大久保 由美(独立役員)                |
| 常勤監査役(社外) | 長江 賢(独立役員)                  |
| 監査役(社外)   | 藤川 義人                       |
| 監査役(社外)   | 森澤 夕子                       |
| 執行役員      | 土山 覚史(営業本部長)                |
| 執行役員      | 石井 衛 (レギュレーション・グローバル推進室担当 ) |
| 執行役員      | 佐藤 英明(細胞技術本部長)              |
| 執行役員      | 谷 勝弘 (管理本部長)                |
| 顧問(医療)    | 関 博之 (埼玉医科大学 名誉教授)          |

2025年 3 月末時点

| 年月        | 概要                                                                                                                     | 年月        | 概要                                                                                                          |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1999年 8 月 | 東京都港区に株式会社ステムセル研究所設立                                                                                                   | 2020年10月  | 大阪大学大学院医学系研究科と他家細胞を用いた「臍帯組織由来幹細胞と半月板修復材を用いた新規半月板再生医療の開発研究」に関する共同研究契約を締結                                     |
| 1999年 9 月 | 当社初のさい帯血を保管                                                                                                            | 2020年11月  | 大阪市立大学（現 大阪公立大学）を中心とする研究グループによる「低酸素性虚血性脳症（HIE）に対する自己臍帯血治療」の第Ⅱ相多施設共同臨床研究において、特定細胞加工物（自己臍帯血細胞調整液）の製造業務委託契約を締結 |
| 2004年 5 月 | 検体数の増加に伴い本社並びに細胞処理センターを東京都港区に移転                                                                                        | 2020年11月  | 慶應義塾大学医学部と「ヒト羊水幹細胞による周産期脳障害の細胞治療」に関する共同研究契約を締結                                                              |
| 2007年 5 月 | 保管能力の増強を目的に細胞保管センターを神奈川県横浜市へ移設                                                                                         | 2021年 3 月 | 「再生医療等安全性確保法」に基づく、特定細胞加工物製造許可を取得し、神奈川県横浜市に新細胞処理センター（横浜CPC）を開設                                               |
| 2008年 3 月 | 兵庫県神戸市において当社保管のさい帯血が、白血病の移植治療に利用される                                                                                    | 2021年 4 月 | 日本初となる「さい帯（へその緒）組織保管サービス」の提供を開始                                                                             |
| 2009年 4 月 | 米国デューク大学で当社保管のさい帯血が脳神経疾患への再生医療に利用される                                                                                   | 2021年 6 月 | 東京証券取引所マザーズに株式を上場                                                                                           |
| 2011年 4 月 | 東京都港区の細胞処理センターにて、ISO9001を取得                                                                                            | 2021年 6 月 | 神奈川県横浜市に最新のIoT技術を採用した第2細胞保管センターを新設                                                                          |
| 2013年 9 月 | 株式会社日本トリム（東証一部）が当社株式の50.1%を取得                                                                                          | 2022年 4 月 | 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所グロース市場へ移行                                                                        |
| 2016年 2 月 | 東京都港区の細胞処理センターにて「再生医療等安全性確保法」に基づく、特定細胞加工物製造許可を取得                                                                       | 2022年 4 月 | 大阪大学大学院医学系研究科に共同研究講座「運動器スポーツバイオメカニクス学講座」を開設                                                                 |
| 2016年 7 月 | 品質管理向上のため、アメリカさい帯血協会（CBA）に加盟                                                                                           | 2023年 5 月 | 事業拡大に伴う本社機能の拡充および業務の効率化を図るため、東京都港区虎ノ門に本社移転                                                                  |
| 2017年 4 月 | 高知大学医学部附属病院が実施する「小児脳性麻痺等に対する再生医療提供計画」において、特定細胞加工物製造委託契約を締結                                                             | 2023年 5 月 | 事業拡大に伴い、神奈川県横浜市緑区に横浜オフィスを開設                                                                                 |
| 2017年 9 月 | 厚生労働省健康局へ「臍帯血取扱事業の届出」を提出                                                                                               | 2023年 5 月 | 大阪公立大学と「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」に関する研究者主導臨床研究契約を締結                                               |
| 2018年 9 月 | 東京大学医科学研究所と「臍帯の臨床応用に向けた技術開発と保管体制構築」に関する共同研究を開始                                                                         | 2023年 6 月 | さい帯由来幹細胞培養上清液製造サービスを開始                                                                                      |
| 2019年 7 月 | American Association of Blood Banks（AABB）認証取得                                                                          | 2024年10月  | 臨床研究等提出・公開システム（jRCT）にて、「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」研究者主導臨床研究の情報が公開                                  |
| 2020年 9 月 | 東京大学医科学研究所及び東京大学医学部附属病院と自家さい帯由来細胞を用いた「周産期付属物由来細胞の臨床応用に向けた技術開発とバンキング体制構築」と「自家臍帯由来細胞を用いたティッシュエンジニアリングの研究開発」に関する共同研究契約を締結 | 2024年11月  | 新ブランド「さい帯・さい帯血ファミリーバンク HOPECELL」をリリース                                                                       |
| 2020年10月  | 高知大学医学部附属病院が実施する「小児脳性麻痺など脳障害に対する同胞間臍帯血単核球細胞輸血」および「小児脳性麻痺など脳障害に対する同胞間臍帯血有核細胞輸血」の臨床研究において、特定細胞加工物製造委託契約を締結               | 2024年11月  | シンガポールに地域統括会社STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.を設立                                                              |
| 2020年10月  | 大阪大学大学院医学系研究科と他家細胞を用いた「臍帯組織由来幹細胞と半月板修復材を用いた新規半月板再生医療の開発研究」に関する共同研究契約を締結                                                | 2025年 2 月 | 新たな細胞処理及び保管センターの開設に向け、神奈川県横浜市に土地を購入                                                                         |
|           |                                                                                                                        | 2025年 5 月 | 神奈川県横浜市に3施設目となる第3細胞保管センターを新設                                                                                |

# 事業内容

# さい帯血 = 「へその緒（さい帯）の中」を流れる血液

赤ちゃんとお母さんを結ぶ

「へその緒」や「胎盤」を流れている、出産時にのみ採取できる貴重な血液。

血液や神経などに分化する

「幹細胞」が豊富に含まれている。

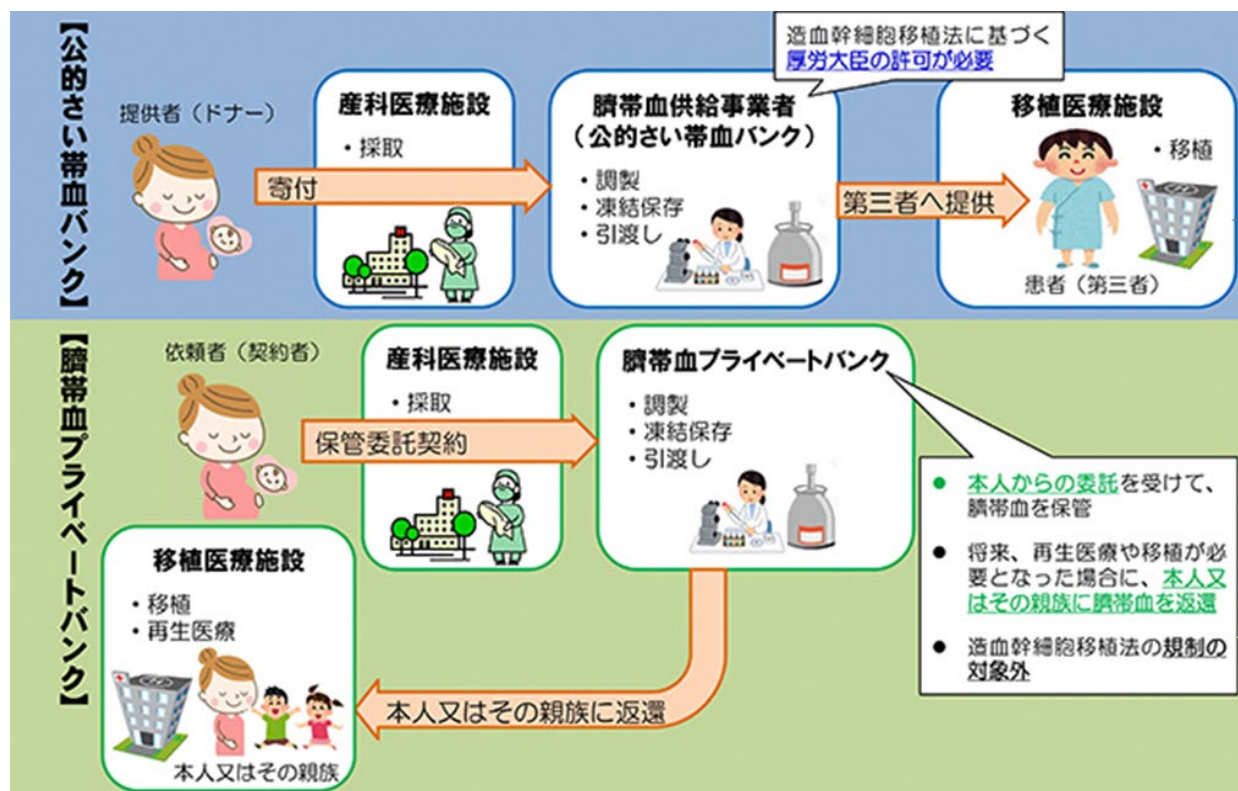


再生医療・細胞治療での  
活用が期待されている

## さい帯血から採取できる幹細胞の特徴

- ▶ 母子ともに痛みや危険を伴わずに採取可能（非侵襲性）
- ▶ 自分の体の中にある細胞（体性幹細胞）であるため、**ガン化のリスクも少ない。**
- ▶ 生まれたての未熟な幹細胞で、**外部環境による影響（遺伝子変異）が少ない。**
- ▶ 成人から採取できる幹細胞に比べ、**増殖性に優れている。**
- ▶ 通常は医療廃棄物となることから、**倫理的な問題が少ない。**
- ▶ 出生から小児までの間に再生医療を行う場合の**貴重な自家細胞ソース。**

公的バンクは厚生労働省健康局の「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づき、白血病を含む27種類の難治性血液疾患を対象に、第三者の治療に役立てるために寄付し、保管されております。民間バンクは厚生労働省 医政局の「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、脳性麻痺や自閉症スペクトラム症候群などを対象疾患とし、再生医療を目的に赤ちゃん自身やそのご家族のために保管されます。両者は違う法律のもと、それぞれが独立しており行き交うことはありません。また民間バンクは許可制ではなく、一方で、厚生労働省へ臍帯血取扱事業の届出が要請されており、年度ごとに保管検体数および廃棄検体数の報告が求められております（2024年3月31日現在、当社を含め2社）。



公的バンクでは、第三者の治療（白血病など）に役立てるために寄付し、保管されます

民間バンクは赤ちゃん自身やそのご家族の将来のために保管します

（厚生労働省Webサイト [https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/ishoku/saitaiketsu.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/ishoku/saitaiketsu.html) より）

# さい帯 = 「へその緒」

## さい帯（臍帯）

さい帯血とは  
異なる種類の幹細胞  
（間葉系細胞）  
が含まれている。



さい帯血・さい帯の両方を  
保管しておくことで、  
将来の利用に向けた  
選択肢が広がる

## 間葉系細胞の特徴

- ▶ 免疫調整、抗炎症、組織修復作用を有し  
**再生医療の分野**において  
国内外で活発に研究が進められている。
- ▶ 治療が試みられている病気は、**神経性疾患、  
呼吸器疾患、移植後の合併症の抑制**など多岐にわたる。
- ▶ 他家のさい帯組織由来間葉系細胞を用いた臨床研究は  
数多く報告されており、  
**海外では1331例、国内では37例**ある。

(海外) ClinicalTrials.gov

(国内) JRCT(臨床研究実施計画・研究概要公開システム)

さい帯血

- ▶ **小児脳性麻痺**（高知大学）、**自閉症スペクトラム障害**（大阪公立大学）に対する臨床研究が進行中
- ▶ 米国デューク大学「**拡大アクセス制度(EAP)**」への参加者増加中

さい帯

## ファミリー上清<sup>®</sup>（さい帯由来幹細胞培養上清液）製造サービス

保管したさい帯の幹細胞を培養・増殖させて  
エクソソームやサイトカイン等を含む上清液を製造  
複数回製造・ご家族でご利用可能

**LTV（顧客生涯価値）向上を実現**  
**サービス申込者増加中**

### ポイント

1

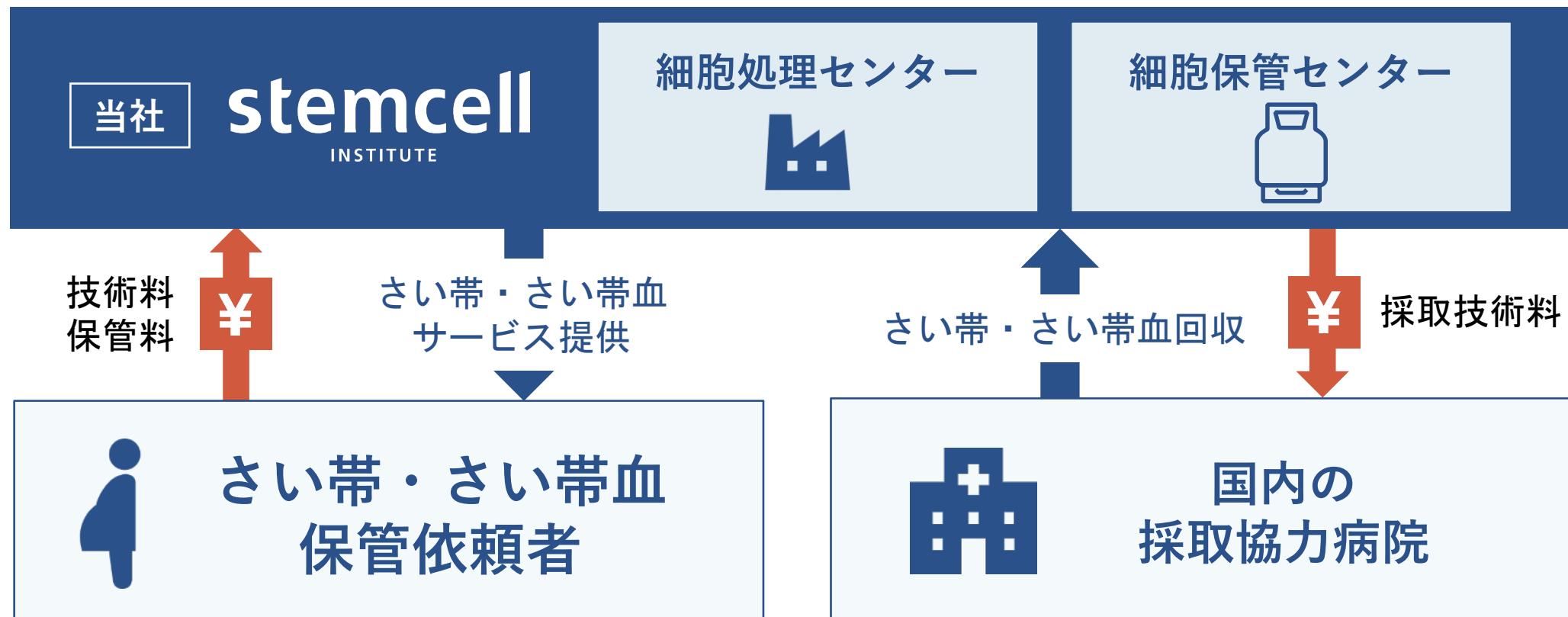
保管したお子さまの「さい帯」から幹細胞培養上清液を製造  
日本初、当社だからできるサービス

2

医療クリニックにおいて医師の裁量下で顧客のニーズに  
合わせて適切に投与

3

複数本に分けて保管したさい帯の一部を使用するため、  
残りのさい帯は、将来に備えて保管継続が可能



累計採取実績 **約2,200** 軒

(参考：全国の分娩取扱施設数 2,075軒※)

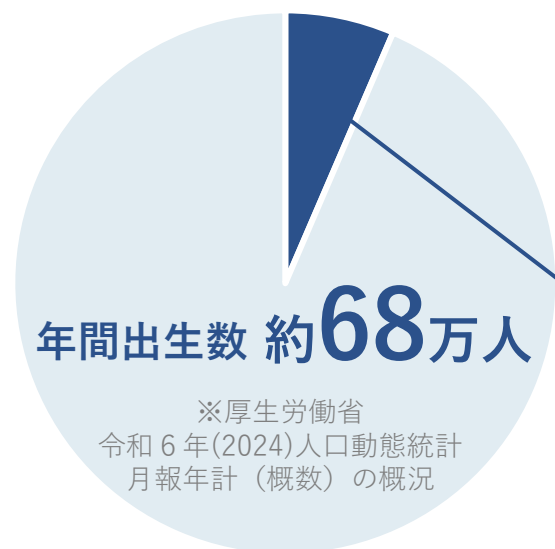
民間さい帯血バンクのパイオニアとして  
全国の産科施設へのネットワークを構築

※ 厚生労働省 第5回「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」資料  
「出産なびの運用状況等について」より

## リアルチャネル（母親学級スピーチ）

※ 出産の情報（授乳等）について施設側からレクチャーするクラス。

協力産科施設で開催される母親学級※において、さい帯・さい帯血保管サービスを紹介



総出生数に対するアプローチ率  
**6.9%程度**

年間  
**4.7**万人

（平均開催数530回/月、平均参加者数8.7人/回）  
※2025/03期

営業強化によりスピーチ獲得数が増加

平均開催数は430回/月(2024/03期)から**530回/月(2025/03期)へ拡大**



## デジタルマーケティング

オンライン広告・SNS等のデジタル接点を通じて、安心感のある情報発信とサービス紹介を実施

### ▶ Web広告配信（2020/06より開始）

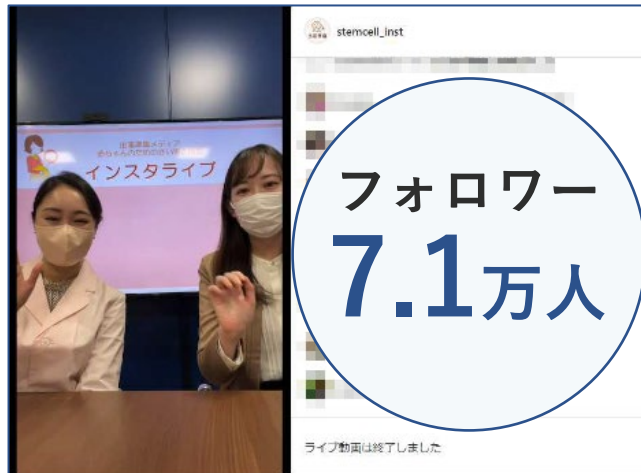
Google、Yahoo、Instagram、LINEといった複数の媒体で広告配信を行い、多方面から資料請求コンバージョンを獲得



### ▶ SEO対策強化（2020/11より開始）

### ▶ SNS運用

Instagramにて、公式アカウントを運用  
投稿やストーリーのほか、  
インスタライブにて  
妊婦向けの情報を発信  
(2020/11より開始)



### ▶ HP（妊娠・出産お役立ちコラムサイト）

医師・助産師監修のもと、さい帯・さい帯血をはじめ妊娠・出産に関する情報を分かりやすく発信する当社オリジナルのコラムサイト

HPアクセス数  
平均約**41**万UU/月

対策キーワード 上位表示率  
約**75**%  
※妊娠・陣痛系 キーワード



### ▶ 妊婦向けアプリと共同オンラインセミナー

(2024/09より開始)

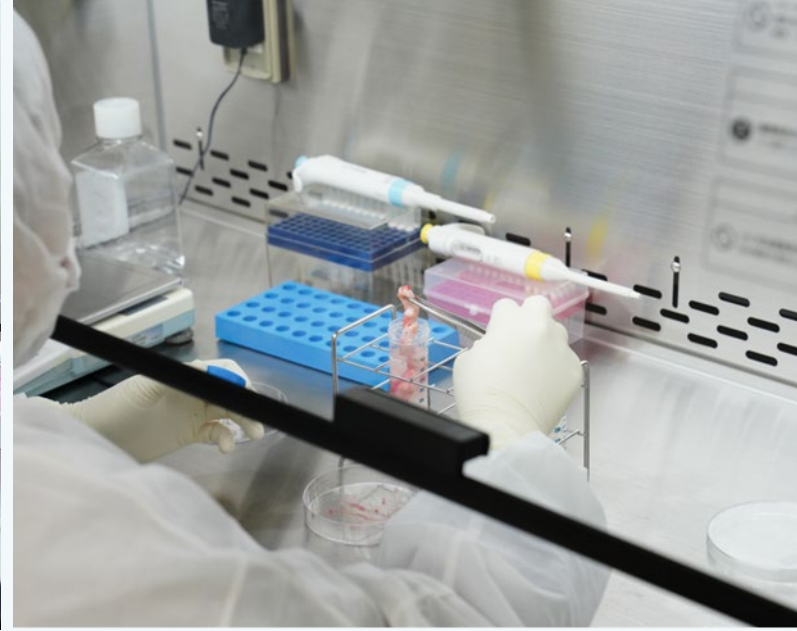
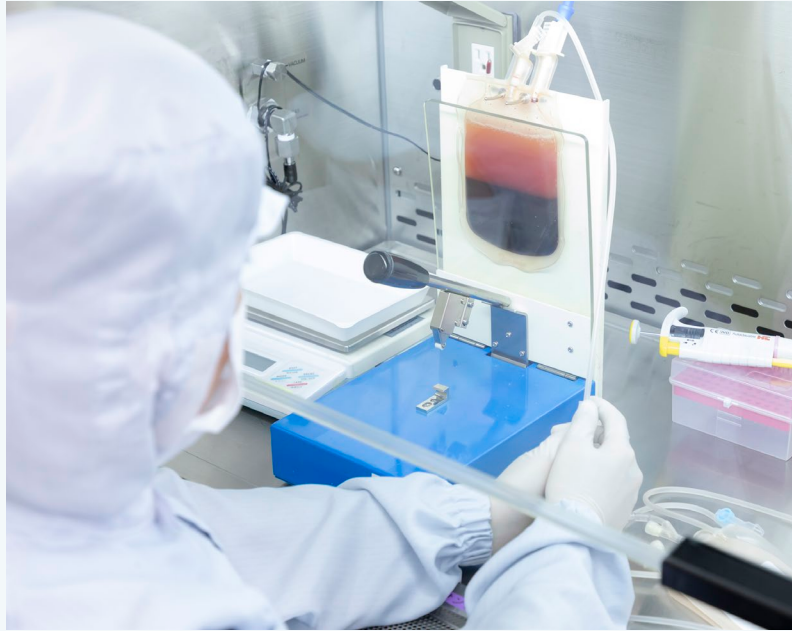
妊婦さん向けに生活情報等を提供するアプリ主催のオンラインセミナーと連携し、当社のさい帯血セミナーを実施  
参加者に対してサービスの理解促進と資料請求の獲得を図る

# 東京細胞処理センター／横浜細胞処理センター

細胞処理能力（東京・横浜CPC合計）

約2000件/月

IoTを活用した  
最先端のデータ管理システム



# 第1 / 第2 / 第3 細胞保管センター

検体保管能力(第1～3センター合計)

約20万検体

さい帯血以外（さい帯、卵子等）の  
様々な細胞も保管可能



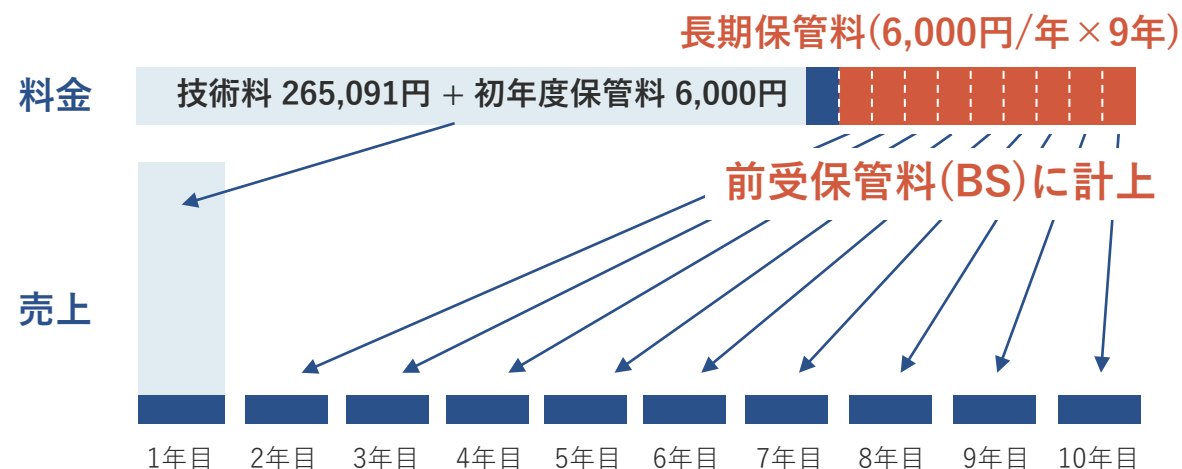
- ▶ さい帯・さい帯血を両方採取し、できるだけどちらかを保管。  
新プランHOPECELL(ホープセル)は月々2,980円<sup>※</sup>(税込)、両方保管しても月々3,980円<sup>※</sup>(税込)の新料金プラン。  
※120回分割/10年保管の場合
- ▶ 契約成立時の技術料 + 初年度保管料 = 当期P/L計上。
- ▶ 初年度を除く保管料(6,000円/年<sup>(税別)</sup>) = 「前受保管料(BS)」に計上。翌年以降毎年売上に振替。

## 契約料金 (10年保管の場合、金額は全て税別)

|                                          | 技術料      | 保管料       | 合計       |
|------------------------------------------|----------|-----------|----------|
| ONEホーププラン<br>(さい帯 or さい帯血の<br>いずれか一方を保管) | 265,091円 | 6,000円/年  | 325,091円 |
| Wホーププラン<br>(さい帯 and さい帯血の<br>両方を保管)      | 314,182円 | 12,000円/年 | 434,182円 |

2024年11月より、上記の新料金プランを開始  
契約期間は、10年、20年から選択可能

## 例 さい帯血を10年保管する場合(合計 325,091円<sup>(税別)</sup>)



## 契約年数の割合 (2025年3月期)

20年 (28.9%)

10年 (70.2%)

1年  
(0.9%)

# さい帯血新規保管数シェア 99.8%

民間さい帯血バンクの累計保管数 87,544件

ステムセル研究所 86,733件

A社

- ▶ 民間さい帯血バンクは、厚生労働省へ「臍帯血取扱事業の届出」の提出を要請されており、2024年3月31日現在、同届出を行っている民間さい帯血バンクは当社を含め **2社**。

## 日本初の民間さい帯血バンク

|          | 設立    | 累計保管数           | 新規保管数（2023年度）  |
|----------|-------|-----------------|----------------|
| ステムセル研究所 | 1999年 | 86,733件 (99.1%) | 9,073件 (99.8%) |
| A社       | 2004年 | 811件 (0.9%)     | 15件 (0.2%)     |

（2024年3月31日時点 各社提供の、「さい帯血プライベートバンクの業務内容等に関する届出及び報告に係る実施要領」に基づく「事業実績に関する報告」より）

## 日本のさい帯血の採取率は **1%**

- ▶ 法律などの社会的な基盤がなく、臨床研究が進めにくい環境だった
- ▶ 産科施設でのリアルマーケティング重視
- ▶ 他国では医療＋美容目的でも利用

他国(特にアジア地域)  
に比べて低い

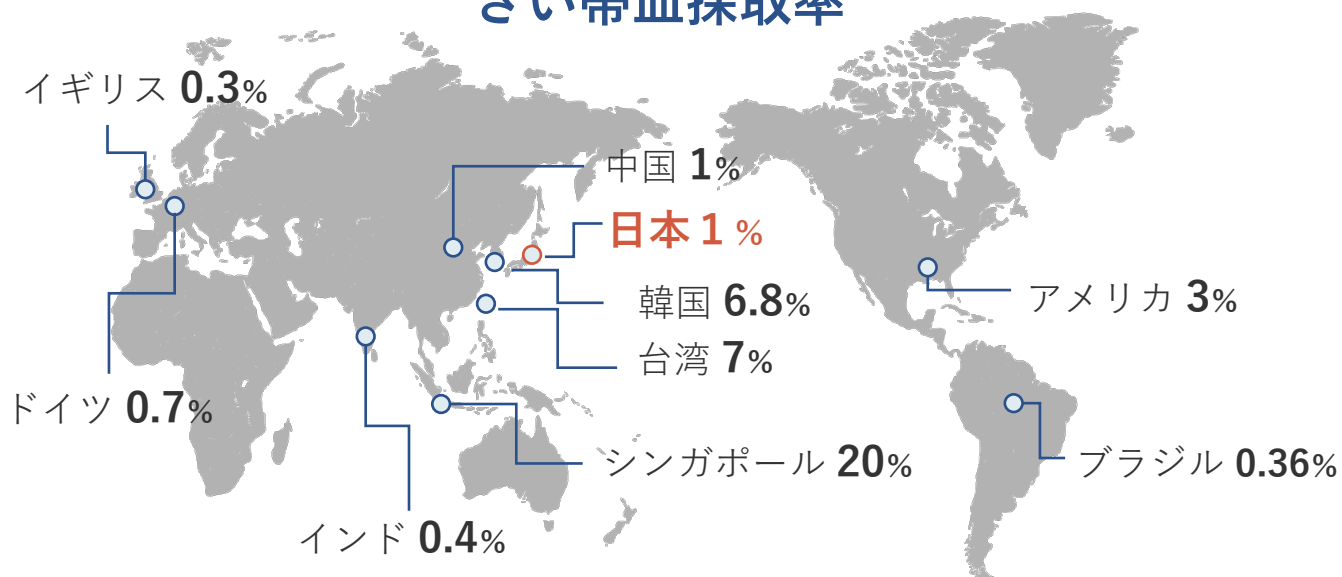
→ **市場拡大**

### 目標採取率

3 - 4年後 ..... **3%**

中期的 ..... **10%**

### さい帯血採取率



### 民間さい帯血バンク数 (社)

|      |    |        |   |
|------|----|--------|---|
| アメリカ | 17 | 台湾     | 6 |
| インド  | 11 | イギリス   | 4 |
| ブラジル | 11 | シンガポール | 3 |
| 中国   | 10 | ドイツ    | 2 |
| 韓国   | 8  | 日本     | 2 |

※Parents Guide to Cord Blood HP「Percentage of births banking cord blood」を基にステムセル研究所が作成。  
日本・シンガポールのみ2024年の採取率に更新。

# 決算概況

## 1 実行した施策と成果

### 新サービス(保管)プラン「HOPECELL」の導入

月額2,980円(税込)の分割支払いを設定、従来のプランと比較して平均成約率は**9.7%**、平均単価は**29.7%**アップ

### さい帯由来「ファミリー上清」製造サービスの 申込数及び投与数の増加

### 東南アジア進出に向けたシンガポール現地法人 の設立、事業開始準備中

### 自閉症スペクトラム障害(大阪公立大学)に対する 臨床研究が開始

被験者募集開始と同時に**多くの参加希望**あり

### 将来性のある分野等への投資活動

- 保有株式売却益**136百万円**計上
- 世界初、家庭用妊婦向け超音波エコー「ポケマム」のECサブスクを展開する(株)スマートエコーに新規投資

### 神奈川県横浜市に新たに 事業用地を取得

### 第3細胞保管センター (第3 CCC)を新設

### 株主還元の充実及び資本効率の向上を目的に自己株式を取得

## 2 課題と対策

- ▶ 業績は**過去最高**を更新するも、通期業績予想に対する実績値は売上高△10.7%、営業利益△30.2%、経常利益△28.5%、当期純利益△22.8%、検体数△11.9%で着地。新プラン「HOPECELL」の立ち上がり時間に時間を要したことが主な要因。
- ▶ 中期的な経営目標である保管数20,000検体(国内出生数に対する保管率約3%)の達成に向け、**新プランの運用体制強化及びマーケティング戦略の見直し**を実施、さらに、**東南アジア (SEA) 市場への本格進出**で業績向上を実現。

(単位：百万円)

|                    | 2024/03期 | 構成比    | 2025/03期 | 構成比    | 対前期<br>増減額 | 対前期<br>増減率 |
|--------------------|----------|--------|----------|--------|------------|------------|
| 売 上 高              | 2,481    | 100.0% | 2,679    | 100.0% | 197        | 8.0%       |
| 売上総利益              | 1,575    | 63.5%  | 1,692    | 63.2%  | 116        | 7.4%       |
| 販売費及び<br>一般管理費     | 1,162    | 46.8%  | 1,273    | 47.5%  | 111        | 9.6%       |
| 営 業 利 益            | 413      | 16.7%  | 418      | 15.6%  | 4          | 1.1%       |
| 営業外損益 <sup>※</sup> | 3        | 0.1%   | 10       | 0.4%   | 6          | 192.3%     |
| 経 常 利 益            | 417      | 16.8%  | 428      | 16.0%  | 11         | 2.8%       |
| 特 別 損 益            | 24       | 1.0%   | 136      | 5.1%   | 112        | 469.2%     |
| 税引前<br>当期純利益       | 441      | 17.8%  | 565      | 21.1%  | 124        | 28.2%      |
| 当期純利益              | 310      | 12.5%  | 385      | 14.4%  | 74         | 24.1%      |

売上高・各段階利益  
過去最高

売上高（対前期比）  
+ 8.0%

当期純利益（対前期比）  
+ 24.1%

※2025年 5 月13日に開示しました「2025年 3 月期 決算説明資料」において、本項目に誤って「営業外収益」のみの金額を記載しておりました。  
本資料にて、正確な「営業外損益」の金額を記載しております。

(単位：百万円)

|          | 2024/ 3 /31 | 構成比    | 2025/ 3 /31 | 構成比    |
|----------|-------------|--------|-------------|--------|
| 現金及び預金   | 2,845       | 43.5%  | 3,200       | 42.7%  |
| 売掛金      | 1,588       | 24.3%  | 1,840       | 24.5%  |
| 投資その他の資産 | 1,321       | 20.2%  | 1,040       | 13.9%  |
| 資産合計     | 6,543       | 100.0% | 7,500       | 100.0% |
|          |             |        |             |        |
| 前受金      | 3,420       | 52.3%  | 3,772       | 50.3%  |
| 純資産合計    | 2,692       | 41.2%  | 2,627       | 35.0%  |
| 負債純資産合計  | 6,543       | 100.0% | 7,500       | 100.0% |

現預金＋売掛金＋  
投資その他の資産

合計 6,082百万円

対前期比＋326百万円

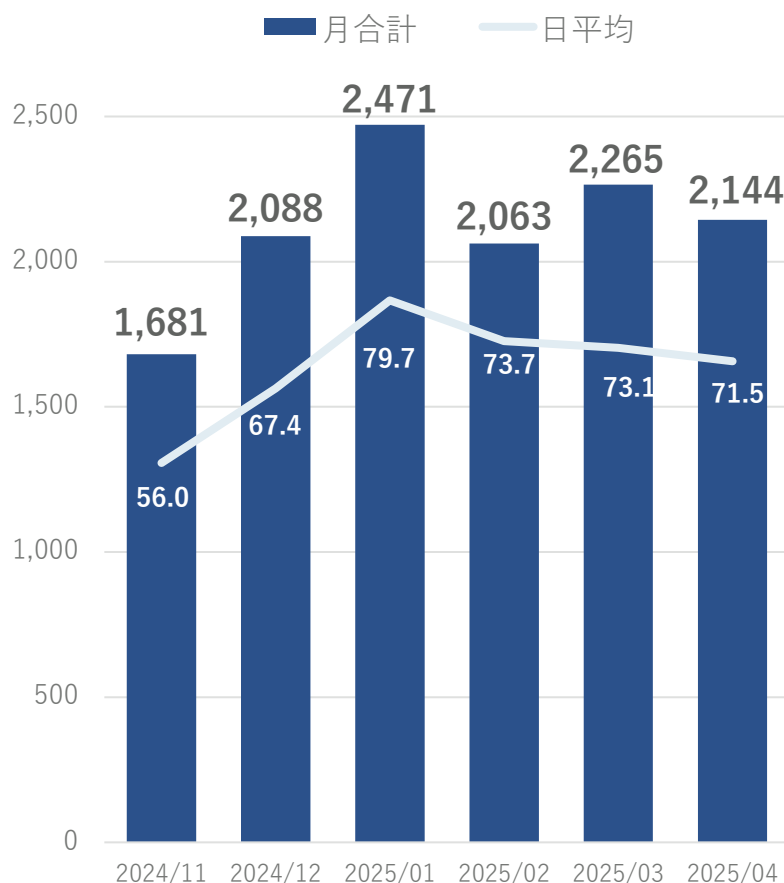
神奈川県横浜市に新たに  
事業用地を取得

保有株式売却益計上

2025年 2 月  
(株)スマートエコーに  
新たに出資

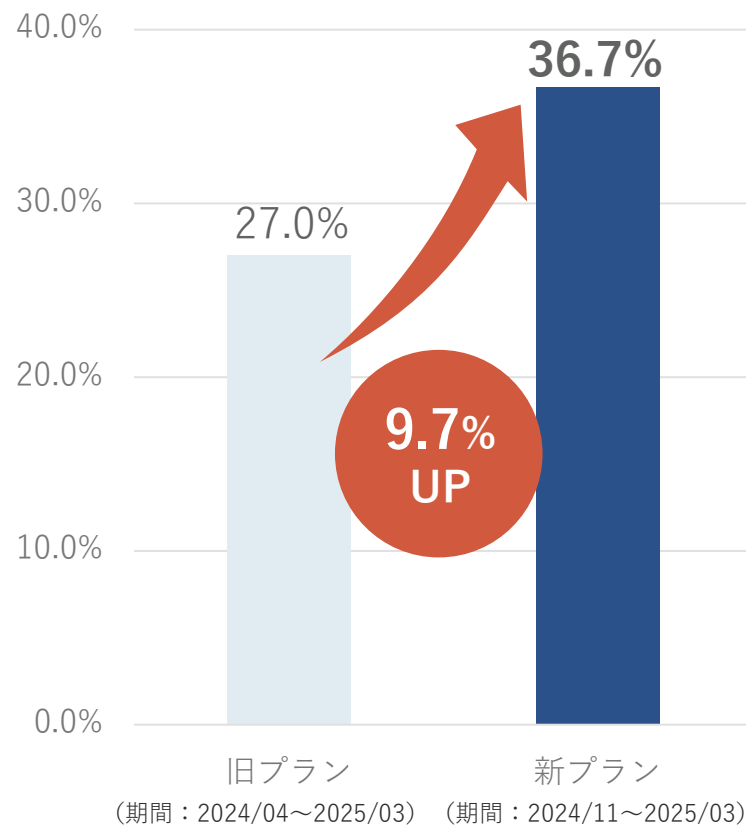
# さい帯・さい帯血を両方採取し、できるだけどちらかを保管 ※120回分割/10年保管の場合 月々2,980円<sup>※</sup>(税込)、両方保管しても月々3,980円<sup>※</sup>(税込)の新料金プラン

資料請求数

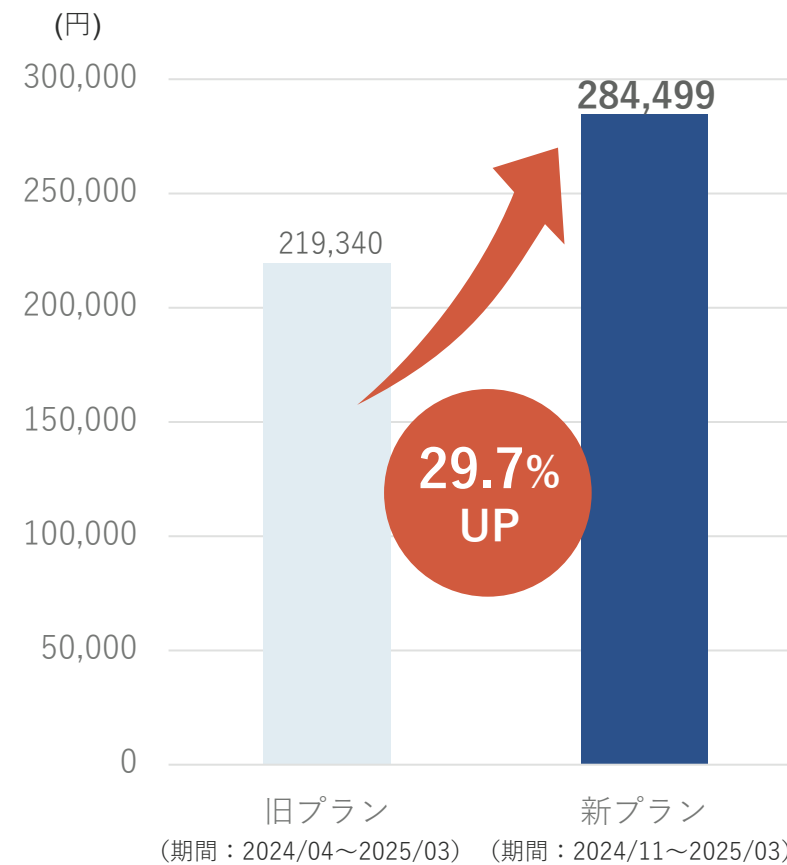


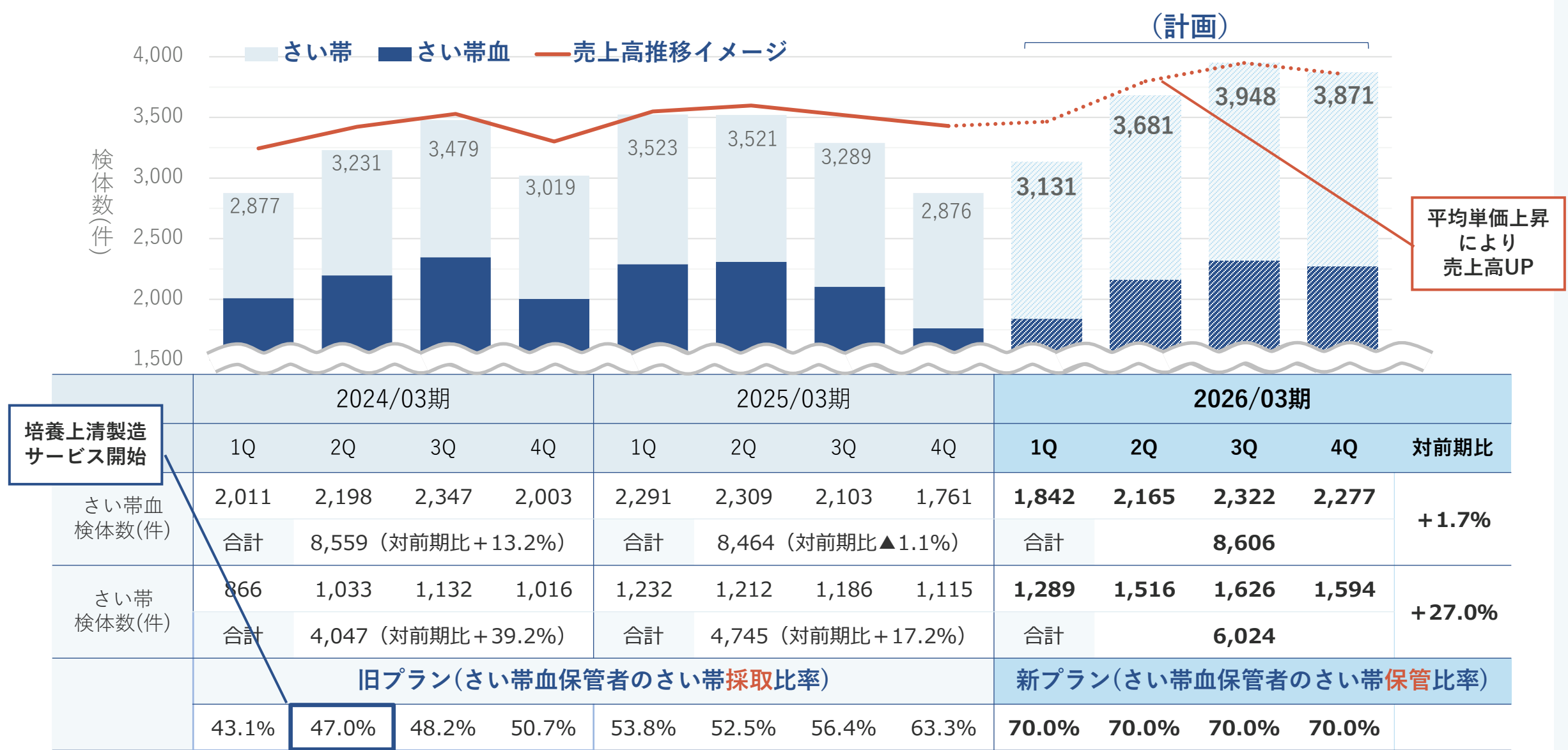
新旧プランの平均成約率

※「成約数÷当該月出産予定の資料請求数」で算出しております。



新旧プランの平均単価





(単位：百万円)

|                   | 2025/03期<br>(実績) | 構成比    | 2026/03期<br>(予想) | 構成比    | 対前期<br>増減額 | 対前期<br>増減率 |
|-------------------|------------------|--------|------------------|--------|------------|------------|
| 売上高               | 2,679            | 100.0% | 3,000            | 100.0% | 320        | 12.0%      |
| 営業利益              | 418              | 15.6%  | 450              | 15.0%  | 31         | 7.5%       |
| 経常利益              | 428              | 16.0%  | 450              | 15.0%  | 21         | 5.0%       |
| 当期純利益             | 385              | 14.4%  | 320              | 10.7%  | △65        | △17.1%     |
| 一株当たり<br>当期純利益(円) | 37.67            | —      | 31.46            | —      | △6.21      | △16.5%     |

売上高・営業利益  
過去最高

売上高（対前期比）  
+12.0%

営業利益（対前期比）  
+7.5%

当期純利益  
前期において株式売却特別利益  
を計上したことによるもの

※東南アジア（シンガポール）事業立ち上げコスト  
1.0億円を見込んでいる。



# 成長戦略

## 年間保管数**20,000**検体に向けた体制構築

- ▶ 新保管プラン「HOPECELL」の本格的浸透による成約率の最大化
- ▶ リアルとオンラインの両チャネルによる**マーケティング施策**の推進強化
- ▶ さい帯由来「ファミリー上清」製造サービスの普及拡大

## さい帯・さい帯血を用いた再生医療領域における**研究推進**

- ▶ 自閉症スペクトラム障害・脳性まひ等既存研究の深化と新たな医療への応用に向けた研究開発
- ▶ 保管細胞の臨床利用を支援する当社独自の「**再生医療サポートプログラム**」の展開

## 東南アジア(SEA)市場における**海外展開の本格化**

- ▶ 2024年11月に設立したシンガポール現地法人を拠点とし、SEA主要国(インドネシア・ベトナム・タイ・フィリピンなど)への段階的進出を計画
- ▶ 信頼性・品質を強みとした「**日本ブランド**」モデルの横展開

## 関連する事業領域における**将来性のある分野への投資活動**

- ▶ これまでの投資実績（～2025年3月）

投資企業数：6社  
投資金額：277百万円  
売却価額：258百万円

売却益合計

**159** 百万円

# リアル/オンラインの両面からマーケティングを強化

## リアル

### ▶ スピーチスタッフの体制を再構築

- 協力産科施設で開催される母親学級※にて当社サービスのスピーチ（紹介）を行う専任スタッフ、**全国に100名以上**在籍
- ピラミッド型の体制を構築、リーダー層を設けることで情報共有及び教育体制を強化し、施設への**情報提供及び質の高いスピーチを提供**

※母親学級：出産/産後の情報について施設側からレクチャーするクラス

### ▶ 産科施設内ブース設置の推進

- 協力産科施設に**当社の専用ブースを設置**し、その場での資料請求や即時契約の獲得を目指す  
シンガポールの**代表的なマーケティング手法**
- 営業社員が各医療機関を訪問し、交渉及び設置を獲得

## オンライン

### ▶ WEB広告の全面見直し

- 広告代理店の変更
- クリエイティブ及びランディングページ(LP)を再設計**、訴求力とコンバージョンを向上

### ▶ オンラインセミナーの充実

- 妊婦向けアプリ企業との合同オンラインセミナー**を活用して資料請求を獲得

### ▶ 動画コンテンツの強化

- 保管者及び投与者の声や当社施設紹介等、**信頼性の高い動画を制作**してサービス理解の促進を図る

### ▶ WEBサイト等のPDCA高速化

- 改善及び検証を継続的に**行う体制を構築、スピーディーな対応で成果最大化を図る

2024年11月設立

## シンガポール現地法人を拠点とした事業展開 (STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.)

### ▶ シンガポール市場の特徴

- **民間バンク 3 社**  
2000年頃から事業開始されており、  
すでに一定のマーケットが出来ている
- **高い保管率**  
出生数約30,000人 保管率約20% 保管数約6,000人
- **高単価**  
21年保管で約7,000シンガポールドル

### ▶ ターゲット

- 今後 3 ～ 5 年以内でシンガポール国内での**年間売上高約10億円**、東南アジア（SEA）全体での**年間30～50億円**の売上創出
- **日本ブランド**の無事故・高品質による信頼性の確立と競合優位性の発揮
- シンガポールを拠点に**インドネシア、ベトナム、フィリピン、タイ、マレーシア**への進出も視野に

## ▶ 2026年 3 月期中の事業開始を目指して準備を本格化

## さい帯血 臨床研究

### ▶ 自閉症スペクトラム障害(大阪公立大学)

100人に1人の割合で診断されている発達障害のひとつ。  
現在、有効な原因療法は確立されていない。被験者募集開始と同時に多くの参加希望があり、すでに第一次の投与枠は締め切り。

### ▶ 小児脳性麻痺(高知大学)

さい帯血の投与後に転倒の回数が減少、両手でおもちゃが掴める等の変化が見られた症例がある他、運動機能だけでなく発達状態や知的能力の改善にも寄与する可能性が示されている。

現在さらに多くの症例を対象とした臨床研究を計画中。

### ▶ 低酸素性虚血性脳症(大阪公立大学、他)

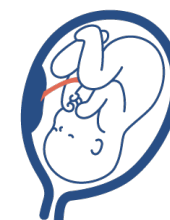


再生医療安確法に基づいた新たな投与  
スキームの検討 (国内、インバウンド含)

## さい帯 基礎・非臨床研究

### ▶ 新たな半月板治療法の開発(大阪大学)

### ▶ 口唇口蓋裂などの先天性疾患(東京大学)



## 米国デューク大学 「拡大アクセス制度(EAP)」



FDA認可のもと進められている「脳性麻痺児等へのさい帯血投与プログラム」では、国内で行われている臨床研究の参加条件を満たさなかった方も投与が受けられるフローが確立。

当社でさい帯血を保管されている方々が参加されるケースが増加中。

当社独自のEAPパッケージツアーを導入する等、  
参加者が円滑に申込みや渡航ができるように  
支援体制を強化

当社独自のプログラム

開始日 ▶ 2025年4月1日

## 「再生医療サポートプログラム」

保管した細胞を実際に再生医療や臨床研究で使用された場合に一部費用をサポートするプログラム

**対 象 者** 当社のさい帯・さい帯血保管サービス「HOPECELL」をご契約中の方

**支 援 額** 国内での使用 **30** 万円 海外での使用 **50** 万円

**対象の医療/  
研究**

- ① 日本国内で実施される臨床研究（当社で保管する細胞を用いたもの）
- ② アメリカ・Duke大学の拡大アクセス制度（EAP）
- ③ その他当社が定める「再生医療」及び「造血幹細胞移植」等

▶ 使用時の費用による心理的・経済的負担を軽減し、**実際の使用の機会を広げる支援体制を強化**

## 豊富な自己資金(投資可能額約50億円)と当社独自のネットワークにより 得られる情報をベースとした事業投資の拡大とM&Aの推進

2021年1月  
出資

不妊

### (株)グレイスグループ

卵子凍結保管サービスを提供  
東京都が「卵子凍結に係る費用  
への助成」を開始したことにより  
**知名度が大幅に向上**  
当社保管センターで卵子保管受託

資本業務  
提携



stemcell

INSTITUTE

投資枠約50億円



2023年1月  
出資

妊婦さん等の  
女性向けサービス

### (株)ベビーカレンダー

女性向けサービス・事業の提供  
(証券コード: 7363)  
マーケティングにおいて  
**相互のチャネルを活用**

資本業務  
提携



2025年2月  
出資

妊婦さん向け  
スマホ・エコー

フェムテック

### (株)スマートエコー

**世界初**、家庭用妊婦向け超音波エコー「ポケマム」の  
ECサブスクを提供、出産後の尿モレ対策アプリなど  
**フェムテック領域へも展開**  
当社チャネルで製品紹介実施中

資本業務  
提携

2023年8月  
出資

小児領域

### (株)ジャパン・メディカル・カンパニー

最先端の3Dプリンティング技術を用いて「赤ちゃんの  
頭のかたちのゆがみ」を矯正するヘルメットの開発、  
製造、販売 **上場申請予定**  
当社チャネルで製品紹介実施中

資本業務  
提携

## Social（社会・人的資本投資）

E / S / G

### 女性の活躍

※2025年4月時点

- ▶ 従業員の女性比率 **77.2%**  
※契約社員・パート含む
- ▶ 女性管理職比率 **40.0%**
- ▶ 報酬総額の男女比率 **1 : 0.8**

### 出産・育児

- ▶ 育休後の復職率 **100 %**
- ▶ 男性の育休取得率 **100 %**

### 賃上げ(率)

- ▶ 2025年 **6.2 %**
- ▶ 2024年 **5.1 %**

### 働きやすい環境

- ▶ リモートワーク・時差出勤・育児期間中の時短勤務 等
- ▶ 細胞処理センター(CPC)スタッフ向け**昼食注文制度を導入(会社補助有り)**  
**本社リフレッシュスペースの充実(一人用ソファ設置・BGM)**

### 人材育成

- ▶ 新卒入社者研修・キャリア研修

### 健康と安全

- ▶ ストレスチェック・健康診断
- ▶ 長時間労働の防止及び上長への通知・指導
- ▶ 有給休暇の取得促進
- ▶ 全従業員を対象としたインフルエンザ予防接種の補助

- ▶ 2023年 **4.5 %**
- ▶ 2022年 **3.9 %**
- ▶ 2021年 **2.0 %**

## Governance（ガバナンス）

E / S / G

### 多様性・経営監視強化

- ▶ 女性役員比率 **28%**  
現在女性役員 2 / 7名、社外役員女性比率50%体制を目標に
- ▶ 社外役員比率 **85%**  
役員 7 名の内、社内役員は代表取締役の 1 名のみで構成

## Environment（環境）

E / S / G

### 環境保全

- ▶ 会社イベントによる胡蝶蘭等の祝花を「フェイクグリーン」に
- ▶ 文房具の共有化による無駄の削減と資源の有効活用
- ▶ オフィス全体での節電運動

# 事業リスク

| 主要なリスク                                                                                                         | 顕在化の可能性/<br>時期 | 顕在化した<br>場合の影響度 | リスク対応策                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「さい帯血」の再生医療分野での研究成果が想定通り進捗しない場合やその他の新たな治療法が出現した場合などは、当社の経営成績及び財政状態に重大な影響を及ぼし、事業継続が困難になる可能性があります。               | 低/長期           | 大               | 治療法が確立されていない疾患及び研究段階のものはまだ多数あり、それらを開発目標に設定し、アカデミアパートナーとともに臨床応用を目指します。                                                                |
| 細胞バンク事業に係る法規制の改正・強化、新たな法規制が制定された場合、あるいはこれらの法規制を遵守できない場合、追加的な対応や事業への何らかの制約が生じることにより、当社の事業や業績に影響を及ぼす可能性があります。    | 低/不明           | 大               | 関係官庁や学会の情報を注視し、また全社的な内部監査、細胞技術本部を対象としたISO9001に係る内部監査、プライバシーマーク制度に係る内部監査を実施し、法的規制への適合性を定期的に確認しております。                                  |
| 細胞培養加工施設における「特定細胞加工物製造許可」の取消等があった場合には、主要な事業活動に支障をきたすとともに当社の業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。                            | 低/中長期          | 大               | 構造設備基準への適合状況に関して、内部監査ISO9001に係る内部監査及びAABB査察（2年に1回）により、再生医療等安全確保法やAABBで求められる基準への不適合事項がないか定期的に確認しております。                                |
| 細胞の分離・処理作業に必要な試薬や長期保管用タンクの冷却用液体窒素の供給が滞ったり、必要な設備が正常に稼動しないなど細胞の輸送、分離、保管の品質維持に支障を来した場合には、当社の事業や業績に影響を及ぼす可能性があります。 | 低/中長期          | 大               | 2021年3月に新たな細胞処理センターを横浜市に建設し、東京と横浜の2施設あることで、万が一どちらかに支障が生じても対応できます。またグローバル品質規格であるAABBやISO9001といった第三者の認証機関より査察を受け、品質や設備運用の維持向上に努めております。 |

※その他のリスクは有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください

- 本資料は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。  
これらは、現在における予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。  
それらのリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済情勢が含まれております。
- 本資料の当社以外に関する情報は、一般的に公知と考えられるものに基づいております。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の勧誘行為を行うためのものではありません。

次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」の開示時期は、2026年6月を予定しております。